

極楽寺だより No.78

お念仏のふるさと浄土宗



白雲山
来迎院

極楽寺

西暦:2025年
佛歴:2565年
開創:447年(1577年開創)
浄土宗鎮西派

浄心会 (写経とお念仏の会) 通常毎月第2土曜日10時から
(4/12)・(5/10)・(6/14)・(7/19)



宗祖法然上人814回忌

御忌法要

並第二次世界大戦終戦80年追悼・平和誓願法要

4月20日(日曜日)
午前10時から

ぎよき
御忌とは阿弥陀佛をのみ名を一心に念じ南無阿弥陀佛と唱えるお念仏の元祖であり、われわれ浄土宗の宗祖法然上人の恩徳を讃え感謝する法要です。今年は法然上人の八百十四回忌になります。

また当日は仏教の開祖『お釈迦様』の誕生をお祝いする花まつりも一緒に行います。観音堂前に飾り付けをした花御堂をお祀りいたします。参拝の皆様、甘茶をかけてお参りしてください。

それと今年は『太平洋戦争と第二次世界大戦の終戦から80年』の節目の年に当たります。御忌法要の中で追悼・平和誓願法要を行います。それに伴い、戦死された方のご回向をいたします。同封の回向申込用紙に必要事項をご記入の上、4月20日までに極楽寺へお送りください。

(尚、ご回向に関して今回卒塔婆は書きいたしません。ご回向のみさせていただきます。)

※法要後、極楽寺護持会の檀家総会を行いますので法要へのご参加をどうぞお願いいたします。

護持会費納入のお願い(前期分)

檀信徒に皆様には平素より何かと極楽寺の運営にご協力下さり御礼申し上げます。
令和7年度前期分の会費6,000円のご納入を御忌法要の際にお願い致します。
緑色の護持会費の封筒を配布いたしますので必ず檀家さまご自身が護持会費の封筒に入れて釣銭のいらないようご納入下さい。なお、やむをえず当日にお参りできない方は総代・世話方さんに託されるか、お振込みの方は下記の口座へ
9月30日(火)までにお振込み下さい。
(振込手数料はお振込される方のご負担となります)
※今回護持会費の緑色の封筒がお手元に届いていない方ですでに前年に今回分をお納めいただいた方、またはお振込みにてご納入の方です。
※振込の方は緑色の封筒は各自での確認用にお使いください。

(振込口座) 福山市農協瀬戸支店 支店番号 8047-602
口座番号 2216079 極楽寺護持会 鶴山豊教

護持会費納入の変更点

令和4年より護持会費の納入に際し、以下の点を変更いたしております。
①法要前に振込または直接お寺へ護持会費をご納入くださる方には必ず領収書をお渡しいたします。以前はお振込みの方には全員、お寺に来られる方にはご本人に領収書の有無をお伺いしてから発行致しておりましたが今回より必ずお渡しいたします。
②法要にてご納入の方全員に必ず領収書をお渡しいたします。その際先に前もってお振込をされた方はトラブル防止のため**振込明細表**を必ずご持参ください(寺側も気をつけますが)これは領収書を発行することにより、納入された方がご自身で確認ができ、お互いにトラブルを避けることに繋がります。
どうぞよろしくお願いいたします。

白雲殿年会費納入のお願い

本堂内納骨堂をご利用の方は年会費2,000円のご納入をお願い致します。
極楽寺護持会費とは扱いが異なりますので納骨堂年会費口座へお振込みをお願い致します。
※ご利用の方にはお手紙を同封しています

発行元: 720-0838 広島県福山市瀬戸町山北740

電話: (084) 951-2178 携帯080-3902-0030 (24時間対応)

E-mail: fukuyamagokurakuji2178@gmail.com

LINE: @gokurakuji2178

浄土宗のお仏壇の祀り方と教え②



過去帳

お仏壇は極楽浄土の姿を現しています。ご家庭内において阿弥陀仏やご先祖様が見守り下さるお姿です。どうぞ1日に1度は手を合わせ心を養う習慣を身につけましょう。

位牌と過去帳

※前号のつづき
(繰り出し位牌)
(回出位牌))

何代も長い間仏壇を引き継いで守ってくださるお仏壇の中に先祖の

位牌が増えてきますね。その場合に、複数の位牌を1つの位牌にまとめる方法の1つが繰り出し位牌(回出位牌)です。位牌の中には、戒名が書かれた札板が数枚納められているもので、位牌の大きさによって異なりますが6～10枚ほど納めることができます。板札の順番はご命日の遅い順を後ろに重ねて入れておき、ご命日が済むと後にまわして常に次のご命日を迎える札が表に来るようにします。

(過去帳) 過去帳はその家の故人名前(俗名)、戒名(または法名)、歿年月日、行年などを記した、各家庭に伝わる系譜です。形は時代劇によく登場しそうな横長の紙を一定間隔で折畳んだものや縦に綴じられた和本があります。過去帳は浄土真宗でよく使われていますが、浄土宗で用いても問題ありません。お仏壇の中に先祖の位牌が増えて複数の位牌を1つの位牌にまとめる方法の1つとしてもおすすめです。繰り出し位牌とは違ってたくさんのご先祖の戒名が記入出来るのもメリットの1つです。過去帳の中身は、日付無しのものや日付ありのものがあります。日付があるものは1日から31日までページがあり、亡くなった日のページにそれぞれの人の情報が記されています。毎日めくることで故人の命日を確認し供養を行います。日付無しものは亡くなったご先祖順に記入していく年表式になっています。

繰り出し位牌(回出位牌)



過去帳



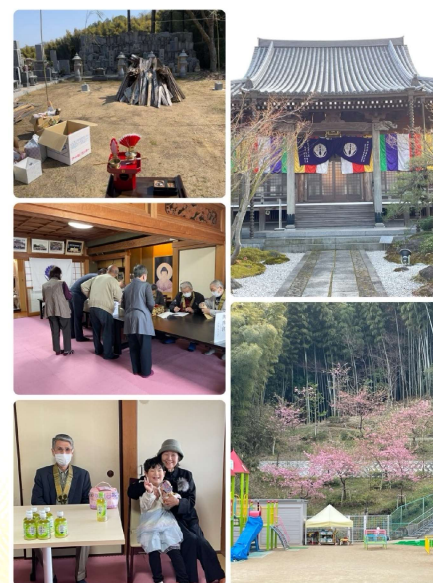
また過去帳の表紙には「〇〇家過去帳」「過去帳」などと書きます。過去帳は誰が書くという決まりはありません。用意した本人が書いてももちろん良いです。しかし普段馴染みのないことばかりなので、実際は購入した仏壇屋さんやお寺の方に頼んで書いてもらうのが一般的です。また過去帳を購入された際には、過去帳を開いて固定するための見台(けんだい)を合わせて用意しましょう。また、過去帳と位牌が一体になっていて過去帳を収納できる過去帳位牌というものもありますので希望に合わせて選択すると良いでしょう。

お仏壇にお位牌がたくさんお祀りしてあるのは大変結構なことですが、お祀りする場所が段々と無くなってご本尊の阿弥陀様や善導大師・法然上人がお祀りされている最上段へお位牌をお祀りするのはあまり良いものではありません。そこまでお仏壇がいっぱいになったのであればお位牌を繰り出し位牌や過去帳位牌にまとめていかれることをお勧めいたします。



彼岸法要御礼

3月20日に春の彼岸法要をさせていただきました。法要は父母恩重経をお読みし、塔婆のご回向をさせていただきました。また続いて観音菩薩の御札(護符)祈願を致しました。お参り下さった皆さまありがとうございました。また前日の清掃、準備にと合わせてご協力下さいました皆様お世話になりました。



おしらせ

極楽寺境内の観音堂にお祀りされている聖観世音菩薩さま、毎年春彼岸中に特別に扉を御開帳しており、彼岸法要の際には本堂へお出ましいただいておりましたが、来年より今までどおりの33年に1度の御開帳とさせていただきます。次の御開帳は西暦2058年となります。来年のお彼岸からは前立ご本尊様が本堂へお出ましくまいります。



※極楽寺役員さん交代のお知らせ 本年3月末を持ちまして世話方を勤めて下さった三谷忠士さんが退任され、新たに三谷雄三さんが世話方になってくださいます。三谷忠士さんには5年間お世話になりました。